

KYOTO PREFECTURAL
COLLEGE OF
AGRICULTURE
SCHOOL GUIDE

京都府内での農業の担い手を目指して！

学校案内

農業
やろうよ。



京都府立農業大学校

ごあいさつ



京都府立農業大学校
名誉校長

河村 能夫

京都府立農業大学校は「グローバル」な大学です。グローバルとは、グローバルとローカルの統合語です。グローバルな環境変化に対応しながら、ローカルレベルで自ら立つ農業・地域社会の強みを活かす農業人を育てるのが、農大のミッションです。

100年の歴史を持つ農大教育は、一般的な大学教育とは対照的で、実践的です。教育は基本的3要素(知識・技能・態度)によって構成され、その有機的統合が不可欠です。大学のカリキュラムでは知識は「理論」、技能は「方法論」、態度は「実習」です。農大では総教育時間の約6割が実習で、実習での経験を理論的・方法論的枠組の中で体系的に理解できるようカリキュラムが編成されています。農大の教育は、実習を軸とする帰納的アプローチによって、課題解決能力を獲得する実践的教育なのです。

実践的教育の狙いの第1は、生産者能力の涵養です。ほ場での農業生産の実習を通して、日本農業の原理を理解し、その強さを活かす農業生産の基礎力を獲得します。第2は経営者能力の涵養です。実践プロジェクトを通して、自己管理するほ場で農業生産だけでなく農業経営も経験し、農業経営の基礎力を修得します。第3は指導者能力の涵養です。寮生活を通して、コミュニケーション能力やチームとして協働する能力など社会人基礎力を身につけ、地域社会を組織し指導する基礎力を獲得します。

府立農大生にはグローバルな農業人として、京都の農業、日本の農業を担うことが期待されています。

府立農大生にはグローバルな農業人として、京都の農業、日本の農業を担うことが期待されています。

設置目的

京都府立農業大学校は、農業を志す者及び農業者に対し、農業に関する技術や知識を習得させるための教育や研修を行うことにより、農業の担い手となる人材を養成しています。

組織

農業大学校

農学科 【2年制】

(専修学校ではありません)

農業の担い手を養成するための実践的な教育

- 野菜経営コース
- 茶業経営コース

研修科 【短期】

多様な担い手を養成するための研修

- 就農ステップイン講座
- 緑の学園
- 農業機械士養成研修
- 農業経営力向上講座

農学科【2年制】

■ 修学年数：2年(全寮制) ■ 定員：1学年20人

教育内容

収益性の高い京野菜や宇治茶生産の担い手を養成するため、実践的な栽培技術や経営手法を習得するための授業を行っています。

教養科目	国語ⅡⅡ／情報処理ⅡⅡ／農業基礎
共通科目	農業簿記、経営分析 植物生理ⅡⅡ、農業基礎、作物概論 園芸概論(野菜・花き)、茶業概論 農業経営、作物保護、農業機械、農業機械操作論 土壌肥料、農産加工・調理、農学実験、就農計画、農政時事 気象学、市場流通論、マーケティング論、スマート農業 農業生産工程管理(GAP)、農業生産工程管理(GAP)演習 主体性開発プログラム

授業時間 (学科)	1時限	8:50~10:20
	2時限	10:30~12:00
	3時限	13:00~14:30
	4時限	14:40~16:10



専攻科目	野菜経営コース	葉根菜類、果菜類、花き類 園芸施設概論ⅡⅡ 経営演習(園芸) プロジェクト演習ⅡⅡ(園芸)
	茶業経営コース	茶生産ⅡⅡ、茶製造 茶病害虫・茶土壌肥料 茶審査、製茶化学 経営演習(茶) プロジェクト演習ⅡⅡ(茶)
実習	共通	基本実習 水稻栽培実習 農家派遣実習
	専攻	専攻実習(園芸)(茶)

野菜経営コース

農学科

野菜経営コースでは就農に役立つ実習として、1年生ではグループ単位でビニールハウス等での栽培、管理、収穫などの実習を行います。2年生は1人でビニールハウスや露地ほ場の一定面積を受持ち、経営感覚を身につけます。

施設野菜グループ



トマト、ネギ等の施設栽培を中心とした経営について学ぶとともに養液栽培の基礎についても学びます。



伝統野菜グループ



九条ネギ、みず菜等の京の伝統野菜を中心に、葉根菜類から果菜類まで幅広く学びます。



野菜・花きグループ



野菜栽培だけでなく、切り花、花壇苗、鉢花など、野菜と花の複合経営を学びます。



露地野菜グループ



ナス、スイカ、キャベツ等の露地で栽培する品目を中心とした経営について学びます。



茶業経営コース

煎茶、玉露の栽培・製造技術の習得、茶の品質評価、効能など緑茶全般について学びます。

2年生では1人当たり20a程度の茶園管理と施設や露地野菜生産を担当し、茶と野菜の複合経営を実践できる技術を身につけます。



実践プロジェクト学習

学生が自ら設定した課題を実践し、結果をとりまとめることで、課題の解決方法や栽培技術を習得すると同時に農業経営も学べる「実践プロジェクト学習」に取り組んでいます。



農大マルシェ

広く府民の皆さんや入学希望者に農大と農業の魅力を知ってもらいイベントを開催しています。



地域とのつながり

地域イベントにも積極的に参加しています



地域FM局にも出演しています

資格・特別講習など

在学中に就農・就業などに必要な資格を取得することができます。



大型特殊自動車
運転免許試験



フォークリフト
運転特別教育



小型車両系建設機械
運転特別教育

- 大型特殊自動車運転免許(農耕用)
- 小型車両系建設機械運転特別教育
- フォークリフト運転特別教育
- 危険物取扱者(乙種・丙種)
- 狩猟免許(わな猟)
- 農業機械士
- 農業簿記検定
- 日本農業技術検定
- 日本茶アドバイザー
- 日本茶インストラクター

研修科【短期】

農業機械士養成研修



農業機械に関する安全知識、整備技術、運転並びに利用技術を学びたい農業者を対象に、学科と実技を8日間開催しています。

就農ステップイン講座



一般府民向けに、野菜の種まきから収穫までの要点について、座学と実習により学ぶ講座を開催しています。

キャンパス案内

約17ヘクタールの敷地面積の中に31棟のビニールハウス・ガラス温室、
約3ヘクタールのほ場・水田と茶畑・茶工場があります。



学校を
ご案内します!



大きな敷地やな!
茶園も広いわ

CAMPUS MAP



①教育棟



座学の授業は
主に教室で
あるんやで

②体育館



スポーツも
やるんやで!

③男子寮
(松風寮)

男子寮は約8畳の洋室



ごはんは
美味しくて
栄養満点!

食堂



④女子寮
(紫明寮)

約10畳の
和室
広っ!



教えて!先輩!

卒業生からのメッセージ



碓井 弥生 さん
令和4年3月卒業

私は「野菜が好き」という理由で農業科のある高校に入学しました。高校では、いちから野菜を育てる楽しさ、お客さんから「美味しい」と笑顔で言ってもらえた時の達成感を感じ、農業を生涯の仕事にしたいと思うようになりました。そんな時、有機農業に出会い、自分がしたい農業はこれだと感じました。高校卒業後は就職を考えましたが、「農業大学校で学んでからの方が道が広がる」と教えてもらい入学しました。農大では、自主性を尊重しながら、座学だけでは学べない現場のことも色々学ぶことができました。農大卒業後は地元で就職するつもりでしたが、「美味しいものを作る」という言葉にとても惹かれ、今勤めている農家さんのところに就職を決めました。就業先の農家さんは有機農業と農福連携をしており、私が将来目指す農業の形だと思っています。

やりたいことを口に出し、反対されてもあきらめない。そうすれば理解してくれる人との絆ができ夢に近づける。そしてこれからも食べた人が「美味しい」と思える野菜を作るため、気づきや学びを忘れず、今後の仕事に活かしていきたいと考えています。



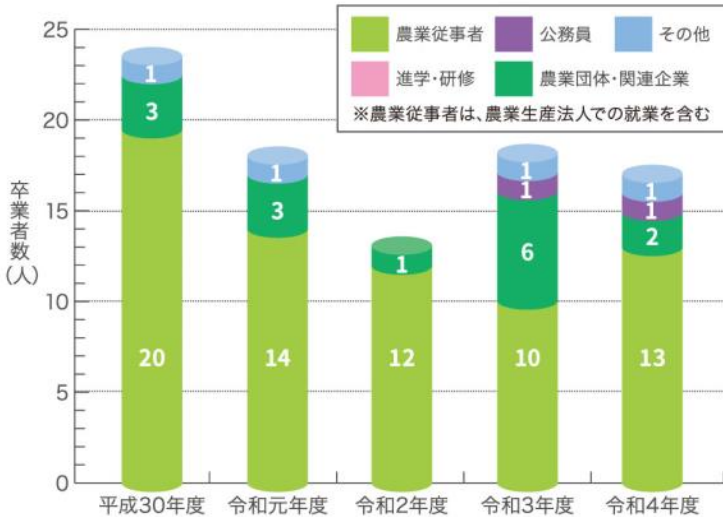
西田 裕一 君
令和5年3月卒業

僕は黒板に向き合っ勉強するのが嫌いで身体を動かすことが多い農業高校になんとか入学しました。しかし、次第に普段何気に食べている野菜にも手間暇がかかり、栽培は容易ではないことがわかりました。それと同時に無限の可能性を感じ、もっと深く学び、いずれは独立してみたいと思うようになり、両親の母校でもある京都府立農業大学校に進学しました。

僕はトマトが好きだったため、2年のプロジェクトでは、トマトを中心に9品目の野菜を栽培しました。また、学校で普通に栽培するのは面白くないと思い、高糖度トマトの栽培に挑戦しました。

就業先はトマトやキュウリの水耕栽培をメインにやっており、僕は主にトマトを担当しています。社員が少ないこともあり、毎日がとてもハードな仕事です。しかし、学ぶこともたくさんあり、毎日楽しくやっています。今後も色々経験し、独立に向けて精進していきたいと思っています。

卒業生の進路状況 (最近5年間)



主な就職先

- (有)アグリランドさんとよ
- (株)淀苗芋七
- (株)エッチワン
- 黒川花卉園芸
- 柴喜農園
- (株)渋谷農園
- (有)誠武農園
- (合)とみた農園
- 長澤農園
- (株)農夢
- (株)古川製茶
- (株)ふるさと農園
- JA京都市
- 志摩機械(株)
- 京都府ほか

経費等

入学金 5,650円

授業料 年間 118,800円

授業料等のほか、その他諸経費(教科書、実習服、学生自治会費、各居室電気料金など)が必要です。学生寮における食費も自己負担となります。

奨学金制度等 ※全て一定の要件があります。

◆修学資金制度

授業料及び入学金の貸与制度。卒業後5年間京都市内で就農した場合は返還免除になります。

◆授業料減免制度

授業料の全部若しくは一部の減免を受けることができます。

◆農業次世代人材投資事業(準備型)

在学中の生活費として資金を受給することができます。ただし、卒業後1年以内に就農し、一定期間継続する必要があります。

Message



井上はるな さん
令和5年3月卒業

私の家は非農家ですが、中学時代に参加した農業高校の農業体験をきっかけに農業の楽しさを知り、そのまま農業への道を進むことを決めました。

高校3年間で基礎を学び、更なる知識と技術を身に付けたいと悩んでいた時に先生から農業大学の存在を教えてもらい進学しました。

高校時代とは違い、実習が多くしんどい日々ではありましたが、手をかければかけるほど応えてくれるかのように成長する農作物の姿をみてより一層、農業の楽しさを感じる事が出来ました。また、2年生では自ら計画した作物を1年間栽培しましたが、自分の思ったようにはいかない日々で挫けそうになったことは何度もありました。

しかし、その経験はいくつものパターンを考え、的確な処理ができる能力を高めるものとなりました。

現在働いている職場では、しろ菜やトマトの栽培を行っています。

まだまだ未熟ではありますが、経験を積みこれからの農業を支えられるような人材になりたいと思っています。



西原大祐 君
令和4年3月卒業

私の実家は非農家であり、農大入学まで農業とは関わりがありませんでした。ただ、幼少期を自然に囲まれて過ごしたこともあり、自然がとても好きでした。

高校の進路相談でそのことを伝えると、先生は農大を紹介してくださいました。もともとトマトが好きだったこともあり、農大への進学を決意しました。はじめての農業、寮生活に対する期待と不安、それと「自分の手でおいしいトマトを作りたい」という想いを胸に入学しました。

1年生では農業の基礎を学び、2年生になると品目選定から栽培方法、出荷に至るまで全て自分で計画し実行することができました。農大は農業のプロフェッショナルである先生方をはじめ、先輩や同期から常に学ぶことができ、同時に実践的に栽培ができる環境が特徴です。私は農大でも充実した生活を送ることができました。

私の就業先ではトマトをメインに多くの品目を栽培しています。実際に自分の手で育てた野菜を褒めてもらった時の感動は言葉には言い表せませんし、今では「自分が栽培したおいしいトマトをいろんな人に食べてもらいたい」という気持ちで、楽しみながら農業に勤しんでいます。



KYOTO PREFECTURAL COLLEGE OF AGRICULTURE SCHOOL



ACCESS



- タクシー** JR山陰本線「綾部駅」下車 北西へ約5キロ
JR綾部駅からタクシー 約10分
- バス** あやべ市民バス JR綾部駅南口から「志賀南北線」に乗車
「殿貝バス停」下車 徒歩30分(※便は1時間に1本の割合です)
- 車** 舞鶴若狭自動車道「綾部インター」を出て、府道77号を南に進み
府道74号を西へ、豊里幼児園を北に折れて岡倉方面に進む

京都府立農業大学校

〒623-0221 京都府綾部市位田町桧前30
 TEL 0773-48-0321 FAX 0773-48-0322
 E-mail kyo-nodai@pref.kyoto.lg.jp
 U R L <http://www.pref.kyoto.jp/kyonodai/>

